

一般社団法人日本スポーツ歯科医学会
認定スポーツデンタルハイジニスト認定試験実施要綱

1. 実施趣旨

一般社団法人日本スポーツ歯科医学会（以下、本会）は、認定スポーツデンタルハイジニスト制度規則および施行細則に基づいて、スポーツ歯学に関する専門知識と経験を有する歯科衛生士を養成するとともに、スポーツ歯科医学の発展と向上を図り、スポーツを愛好する国民の口腔保健と安全に貢献することを目的として、認定スポーツデンタルハイジニスト制度を施行する。この認定スポーツデンタルハイジニスト制度の施行に係る認定試験については、本実施内規に従って、認定委員会が実施するものとする。

2. 受験資格

認定スポーツデンタルハイジニスト申請書類一式に基づいて行われる資格審査に合格した者に対して、認定試験の受験資格を与える。なお、受験資格の有効期限は資格審査合格から原則3年間とする。

3. 受験案内および受験票の交付

認定委員会は、資格審査合格者に対して、資格審査合格通知とともに、認定試験の日時、会場、内容等の必要事項を記載した受験案内と受験票を交付する。

4. 試験内容

スポーツ歯科医学に関する筆記試験を下記の通り実施する。

- 1) スポーツ歯科医学に関する知識の有無を評価する。なお、出題範囲は本会監修「スポーツ歯科臨床マニュアル<第2版>」に準拠し、出題内容は下記の通りとする。
- 2) 試験時間は30分とし、100点満点で行う。
- 3) 多肢選択式および正誤式とし、解答用紙はマークカードとする。
- 4) 試験問題は回収する。

5. 実施時期

学術大会の開催期間に合わせて実施する。

6. 合否判定

60点以上の者を合格と判定する。

7. 結果発表

認定委員会は認定試験実施後、速やかに合否判定を行い、理事会の承認を経て、受験者に合否結果を通知するものとする。

8. 試験問題

- 1) 試験問題の作成および構成は認定委員会が管轄する。
- 2) 試験問題はプール制とする

9. 要綱の変更

本要綱の変更は、認定委員会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

附則

- 1 本要綱は、平成26年5月9日より施行する。
- 2 本要綱は、平成28年4月1日より施行する。
- 3 本要綱は、令和5年6月26日より施行する。

(付) 認定試験の出題内容について

下記項目より出題する。

(1) 競技者への保健指導

< 1 > 口腔環境

A. 細菌 B. 唾液 C. 運動誘発性脱水 D. スポーツドリンク E. う蝕リスク

< 2 > スポーツ歯科健診

A. 問診 B. DMF C. CPI D. 智歯 E. 不正咬合 F. 顎関節症 G. X線検査
H. 咬合検査 I. プロブレムリスト (AFI)

< 3 > 口腔衛生指導・管理

A. 食事の摂り方 (間食・補食含む) B. 水分補給 C. スポーツクレンジング
D. 遠征・大会時のトラブル (智歯周囲炎, 気圧性外傷など)

(2) スポーツ歯科傷害の応急処置と対応

< 1 > 歯科外傷・障害の疫学・統計

< 2 > 応急処置

A. 救急蘇生 (バイタルサイン, 心肺蘇生法, AED含む) B. 外傷歯の応急処置 (歯の保存液含む)
C. 顎顔面外傷の応急処置 (RICE含む)

< 3 > 治療の基礎

A. 検査

視診, 打診, 透照診, X線・CT・MRI検査, EPT, 動揺度テスト, など

B. 治療

整復, 固定, 再植, アペキシフィケーション, アペキソゲネーシス, Hippocrates法,
Borchers法, など

C. スポーツ復帰

(3) スポーツ歯科傷害の安全対策

< 1 > 基本原則

○主体管理

A. 体力・技術の向上 B. ルールの遵守・改正 C. 防具の着用

○環境管理

D. 環境の改善 E. スポーツ器具・用具の正しい使用・点検

< 2 > 安全教育

A. ヒヤリハット事例分析 B. 危険予測学習

< 3 > 歯科用防具

A. マウスガード B. フェイスガード

(4) 競技力の維持向上に向けた支援

< 1 > コンディショニング

A. 歯科疾患 B. 咬合

< 2 > パフォーマンス

A. 筋力・パワー B. バランス・平衡機能

< 3 > スポーツ医・科学

A. スポーツ医学 (増量・減量, 摂食障害含む) B. スポーツ栄養 (食育含む)
C. スポーツ心理 (燃え尽き症候群含む) D. ドーピング